

## 特集

# 産婦人科医に役立つ資格

## 企画者のことば

末岡 浩\*

医学医療の発展はめざましく、その内容も高度となるばかりでなく、安全な医療の推進のために教育研修もますます必要性が高まりつつある。

これに伴って医師資格のみならず、各種の専門医制度や資格の取得が求められている。その資格も学位とは異なり継続的な研鑽が求められる。医育機関に勤務する者ばかりでなく、医師が診療に携わる場合に、患者に対する安心安全な技術提供のためにも取得は望ましいものとなる。

特に専門性の高い医療内容に対して適格な資格認定が行われ、技術の安定化や患者の要望に応えられる情報提供が行われるようになりつつある。このなかには法で制定されている資格、国から標榜を容認されている専門医資格、それ以外の専門医資格に加えて、医療機関の指導要

件として求められている資格、今後、制度化が検討されている資格など、その位置づけもなお多様である。医療者としてこれらすべての資格を有する必要は求められてはいないが、その一方で、資格に基づく安全な医療が確保されることは医療者のみならず、患者にとっても安心できる医療基盤の構築につながることは言うまでもない。

本特集は、現行制度で動き始めている産婦人科医にとって役立つ資格について総合的にわかりやすく解説することを目標とした。その知識をもとに専門医制度やそれ以外の多様な研修などに照らし合わせながら、個々に必要な取得条件や目的とする資格の内容を理解したうえで、目標を定めて学んでいくための座右の書となることを期待したい。

\*K. Sueoka 慶應義塾大学医学部産婦人科(准教授)